

もくじ

精道村のあゆみー芦屋市前史ー	1
精道村年表	2
精道村地図	3
◆農村だった明治の精道村	4
◆精道村に駅が開設ー大阪・神戸へのアクセスが便利に	6
◆農村から郊外住宅地へ	10
◆芦屋川の改修と芦屋遊園地	14
◆精道村名所案内	16
◆阪神間モダニズムの開花	18
◆今も残る精道村のおもかげ	20
◆精道村を襲った2度の大水害	22
◆忍び寄る戦争の影	23
◆精道村から芦屋市へ	24
主な参考文献	25

本書の刊行にあたって

- ・本書は、平成31年度（令和元年度）精道村130年記念事業の一環として、芦屋市教育委員会社会教育部生涯学習課が作成・編集した。
- ・同事業において、平成31年（2019）4月～令和2年（2020）3月にかけて、市民から精道村に関する資料や情報を募集した。本書には、その成果も含まれている。
- ・同事業において、モノクロ写真・絵葉書のカラー化を実施した。その一部を本書に掲載し、キャプションに「カラー化」と明記している。なお、モノクロ写真などのカラー化は機械的に処理されたものであり、本来の色彩が復元されたものではない。
- ・モノクロの絵葉書に手作業で彩色が施されているものについては、キャプションに「手彩色」と明記している。
- ・本書に掲載した写真・絵葉書などは、原則、トリミングを行っていない。
- ・絵葉書の年代については、発行年代、撮影年代、使用年代を区別して表記している。
- ・精道村130年記念事業や、戦前の芦屋についての聞き取り調査などでは、下記の方々にご教示・ご協力を賜った。記して感謝します。（五十音順・敬称略）
浅野公子 池浦名保 池浦隆一 井田肇 茨木由紀子 今井順子 上田和子 宇賀富喜恵
宇賀文夫 川口辰郎 熊谷範子 小阪保 小坂博一 小林武次郎 阪田喜美子 清水威秀
杉山康雄 高瀬湊 高橋俊匡 田島滋 津田静乃 津田真理子 長谷川富士子 原田武夫
樋口喜造 藤川耕策 藤川祐作 星野剛一 細谷昌巳 三崎嘉禧 宮尾三郎 渡辺徹也
山本英明

<表紙>現在の山手町付近からみた精道村（絵葉書：昭和15年〔1940〕頃発行）

せいどうむら 精道村のあゆみ ー芦屋市前史ー

兵庫県の南東部、六甲山地の南麓にあり、南には大阪湾が広がる芦屋市は、昭和15年（1940）11月10日に誕生しましたが、それ以前は精道村と呼ばれていました。

精道村は、町村制が施行された明治22年（1889）4月1日、芦屋村・打出村・三条村・津知村の四か村が合併して誕生しました。この「精道」という村名は精道小学校の校名に由来します。精道小学校の名前は、明治19年（1886）の開校の際に、西宮の漢学者・豊田政苗が「養精修道」という言葉から名付けたといわれています。

精道村が存続した明治22年～昭和15年（1889～1940）の間は、ちょうど芦屋市域が農村から大阪・神戸の郊外住宅地へと劇的に生まれ変わる時期で、六甲山地南麓を中心に「阪神間モダニズム」と呼ばれる地域文化が開花した時期でもありました。

精道村が大阪・神戸の郊外住宅地として目覚ましい発展を遂げた主な理由として、交通の発達が挙げられます。市域で最初の駅は、明治38年（1905）に阪神電鉄の開通に伴い開設された阪神芦屋駅と打出駅で、その後、国鉄芦屋駅（大正2年〔1913〕）、阪急芦屋川駅（大正9年〔1920〕）の開設が続きました。

一方、地元の有力者達は土地耕地（土地区画）整理事業（大正6年～昭和14年〔1917～1939〕）を実施し、精道村の山手の丘陵・台地から海浜部まで、広い範囲に画一的な碁盤目状の街路区画をつくりました。また、六麓荘住宅地（昭和4～6年〔1929～1931〕）や、松風山荘住宅地（昭和3～9年〔1928～1934〕）など、民間会社による住宅地開発も行われました。

このようにして、精道村は、大阪や神戸へのアクセスが飛躍的に便利になり、良好な住宅地が形成されたのです。そして、大都市大阪・神戸の人々が自然豊かで健康的な住環境を求めて移り住んだ結果、優れた郊外住宅地として急速に発展しました。3ページに掲載している明治と昭和初期の地図を見比べると、そのようすがよくわかります。

本書では、精道村があった約50年間に焦点をあて、農村だった精道村がどのようにして郊外住宅地へと変貌し、現在の芦屋市へとつながっているのかを、当時の写真や絵葉書を用いながら紹介します。

精道村年表

	和暦	西暦	できごと	
四 か 村	7	1874	大阪―神戸間に官設鉄道（国鉄）が開通	
	12	1879	菟原郡が発足	
	18	1885	内閣制度が発足	
	19	1886	芦屋小学校を精道小学校に改称	
明 治	22	1889	市制・町村制施行。大日本帝国憲法発布。芦屋村・打出村・三条村・津知村が合併して精道村が発足	
	23	1890	第1回帝国議会開会	
	27	1894	日清戦争（～1895年）	
	29	1896	武庫郡・菟原郡・八部郡が合併して、武庫郡が発足	
	34	1901	八幡製鉄所操業開始	
	35	1902	日英同盟	
	37	1904	日露戦争（～1905年）	
	38	1905	阪神電気鉄道（阪神電鉄）本線（出入橋―三宮）開業。芦屋駅・打出駅が開設	
	41	1908	精道村で電灯供給開始	
	43	1910	韓国併合	
	44	1911	辛亥革命（～1912年）	
	精 道 村	元	1912	芦屋郵便局が開設。精道村にガス供給が開始
		2	1913	国鉄（鉄道院）芦屋駅が開設
		3	1914	第一次世界大戦（～1918年）。芦屋郵便局が電話交換事務開始
4		1915	中国に二十一カ条の要求。第1次芦屋川改修工事（～1916年）	
6		1917	土地耕地（土地区画）整理事業開始（～1939年）。ロシア革命	
9		1920	国際連盟成立。阪神急行電鉄（阪急電鉄）神戸線（梅田―上筒井）開業。芦屋川駅が開設	
11		1922	国鉄芦屋駅が現在地へ移転。全国水平社結成	
12		1923	精道村役場新庁舎が竣工。関東大震災	
14		1925	普通選挙法の成立。治安維持法の成立	
元		1926	国鉄灘―神崎間が複々線化	
2		1927	金融恐慌。阪神国道・国道電車が開通。芦屋警察署発足	
4		1929	六麓荘住宅地の開発開始。世界恐慌。第2次芦屋川改修工事（～1930年）	
6		1931	満州事変	
7		1932	五・一五事件	
8		1933	国際連盟脱退	
9		1934	国鉄吹田―須磨間が電化。室戸台風	
11		1936	二・二六事件	
12		1937	日中戦争（～1945年）	
13	1938	精道村営上水道が完成し、給水開始。国家総動員法の成立。阪神大水害		
14	1939	第二次世界大戦（～1945年）		
芦 屋 市	15	1940	日独伊三国同盟成立。芦屋市制施行	
	16	1941	太平洋戦争（～1945年）	
	18	1943	谷崎潤一郎の『細雪』連載開始	
	20	1945	空襲。ポツダム宣言受諾。終戦	
	25	1950	朝鮮戦争（～1953年）	
	26	1951	芦屋国際文化住宅都市建設法公布。サンフランシスコ平和条約調印	

※太字は精道村に関連するできごと

精道村地図



明治17・18年（1884・1885）（〔清水編 1995〕を改変・加筆）



昭和7年（1932）（〔清水編 1995〕を改変・加筆）